

輸出製品用ラベル、国内製品用 英語ラベルの公開方法について

<本資料の目的>

この資料では、国内製品用ラベル、または輸出製品用ラベルを、日本語または英語にてご準備いただく際の、記載事項のアドバイスやお願い事項をご紹介します。その他ご不明な点ございましたら、事務局にお問合せ頂きますよう、お願い致します。

ラベル種類について

1. エコリーフ環境ラベルの公開種類
2. 輸出製品用ラベルの2つの手続きルート
3. 国内製品用、輸出製品用ラベルを公開するためのフロー

ラベルの公開準備について

輸出版英語ラベルの但し書きなど、記載の注意事項

<問合せ先> 一般社団法人 産業環境管理協会 エコリーフ事務局
Tel: 03-5209-7712 Mail: ecoleaf@jemai.or.jp

<はじめに>

エコリーフ事務局では、参加企業の皆様に英語版の公開ラベルをお作りいただくことを推進しています。

英語版の公開ラベルには以下のようなメリットがあります。

1. 海外企業との商談の際、英語でのタイプⅢ環境ラベル・定量的環境情報を提出できたことで、仕事の信頼度が増加した。
2. 輸出の際、外国の規制に対応する必要があり、タイプⅢ環境ラベルを取得していることで輸出が容易になった。
3. 海外の環境ラベルを取得するにあたって、タイプⅢ環境ラベルを取得することで、評価点数に加点をされた。

英語版ラベルを作成するには？

エコリーフ支援ソフトを使う場合、英語版テンプレートを装備しています。記載が必要な事項のみ英語で入力することで、簡単に英語版ラベルを作成することができます。

すでに公開済のラベルについて英語版を提出される場合は、事務局までお問い合わせください。事務局から英語版テンプレート(様式1～3)をご送付しますので、データ等のコピーを行うことで作成してください。

1. エコリーフ環境ラベルの公開種類

エコリーフの英語版ラベルには、目的に応じて、以下に示す2種類のラベルがあり、手続きと費用が異なります。それぞれ、主言語として国内製品用ラベルは日本語を、輸出製品用ラベルは、英語を使用します。

登録番号にEが付きます。
(例:AD-13-E123)

<エコリーフの英語版ラベルの種類>

ラベルの名称	国内製品用ラベル		輸出製品用ラベル	
	日本語 ¹⁾	英語 ²⁾	日本語	英語 ³⁾
ラベルの目的	日本で販売している製品の定量的な環境情報開示	環境活動の日本事例として海外への紹介・PRなど (例:海外営業の資料など)	海外で販売している製品の定量的な環境情報開示 (例:海外規制の対応など)	
公開ラベル	作成方法	日本仕様基準のPCRおよび原単位を用いて作成される。		
	但し書き	不要		要 (本資料p7を参照)
手続き	通常の検証・登録手続き	英語訳した様式1~3を提出	日本語訳した様式1~3を提出	通常の検証・登録手続き
費用	有料	無料でウェブサイト公開	有料だが、どちらかのラベルが登録されていた場合、もう片方は無料にてウェブサイト公開となる。	

- 1) 通常「エコリーフ環境ラベル」として登録される日本語ラベルを指します。
- 2) 2011年度までは、「日本語仕様製品ラベル」の英語ラベルと呼称されたもの。
- 3) 2011年度までは、「輸出仕様製品暫定ラベル」の英語ラベルと呼称されたもの。
- 4) 日本仕様基準のPCRや原単位を使用しているため、公開ラベルには但し書きが付されます。

2-1. 国内製品用ラベル(英語)の2つの手続きルート

国内製品用ラベル(英語)は、日本語で出された国内製品用ラベルを英語訳したものです。公開の数値が同じであるため、ラベル登録番号は日本語・英語で同じものになります。

公開は2つの方法で行うことができます。

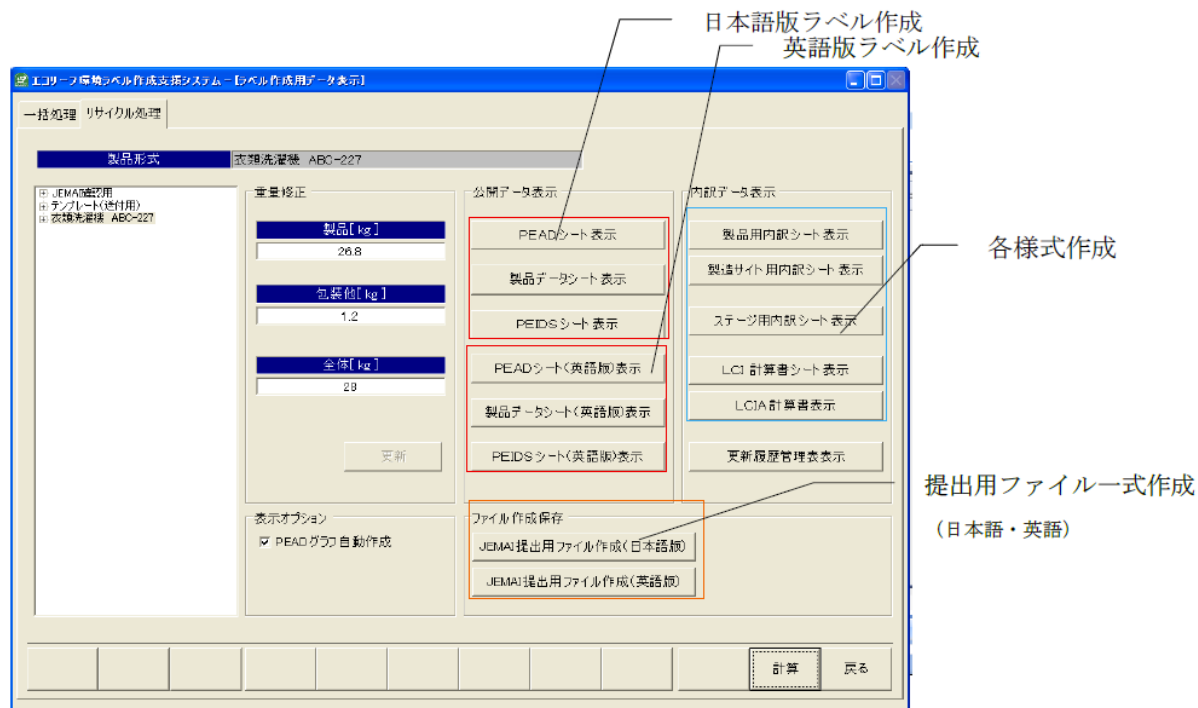
1) 英語版様式1~3(Excel)にコピーする方法

すでに公開済のラベルについて英語版を提出される場合は、事務局までお問い合わせください。事務局から英語版テンプレート(様式1~3)をご送付しますので、データ等のコピーを行うことで作成してください。

2) エコリーフ支援ソフトを使う方法

この支援ソフトは英語版テンプレートを装備しています。記載が必要な事項のみ英語で入力することで、簡単に英語版ラベルを作成することが出来ます。

右図は支援ソフトの参考画面です。日本語版・英語版ラベルや提出用ファイルが自動的に作成され大変便利です。



2-2.輸出製品用ラベルの2つの手続きルート

エコリーフ 輸出製品用ラベルの登録について、以下の2つの公開ルートがあります。共通項目、相違項目についてご説明いたします。

共通項目

<公開ラベルの作成について>

公開ラベル(様式1~3)に但し書き(定型文)を追加記載してください。(詳細は、本資料p7参照)
登録番号に、輸出版を示す「E」が記載されます。(例:AA-13-E001)

<公開ラベルの登録について>

ラベル登録の際、ラベル登録申請書(F-28)の提出が必要になります。以下からダウンロードし、事務局へご提出ください。
<http://www.ecoleaf-jemai.jp/application/>

また、ラベルの登録番号を新しく付与するにあたり、ラベル登録料金が必要になります。以下、ご注意ください。

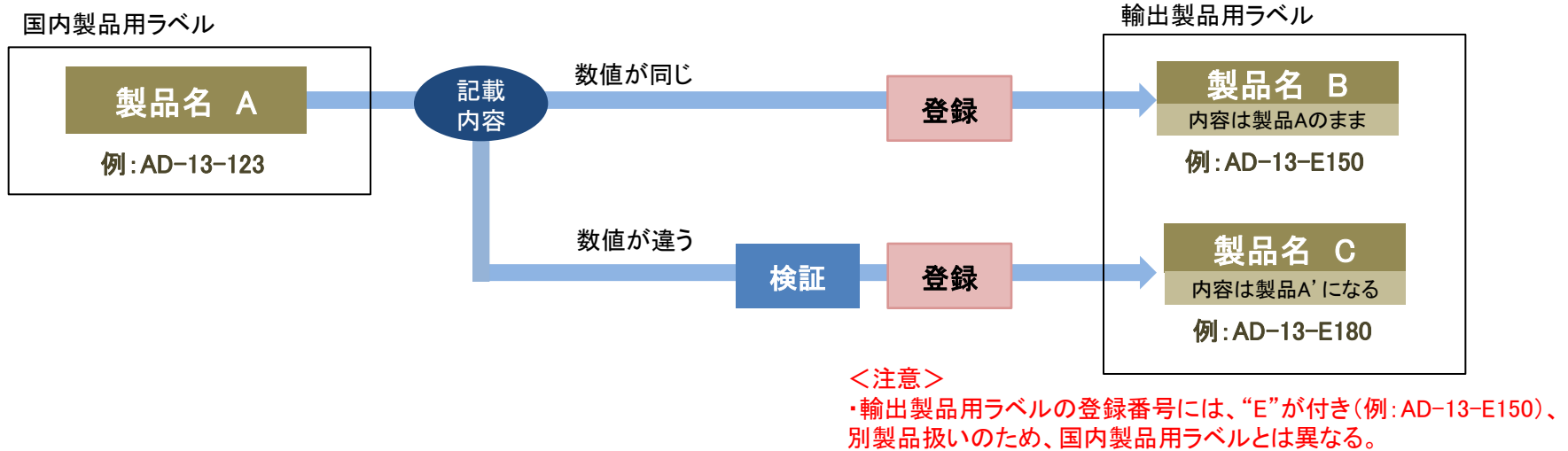
- 1) ルート1では国内製品用ラベルと輸出製品用ラベルの公開数値が同じ場合でも、社名や製品名が異なって登録されるため、別製品として扱われます、登録料金の支払いが発生します。
- 2) ルート2で、同じ内容の国内製品用ラベル(日本語)も同時に公開する場合は、検証は不要で、登録の支払いが発生します。

公開ルート	1	2
ラベルの公開内容	国内製品用の公開ラベルがあり、 公開数値も同じ場合 ※国内製品用公開ラベルと数値の変更がない 範囲で、デザイン変更を認めます。	国内製品用の公開ラベルがない、 または公開ラベルはあるが、 公開数値が異なる場合
データ検証申請と 料金	不要	要(有料) ※検証料金は、他に補正検証や類似製品の同 時検証方式等の選択で、割引料金があります。
登録申請と 料金	要(有料)	

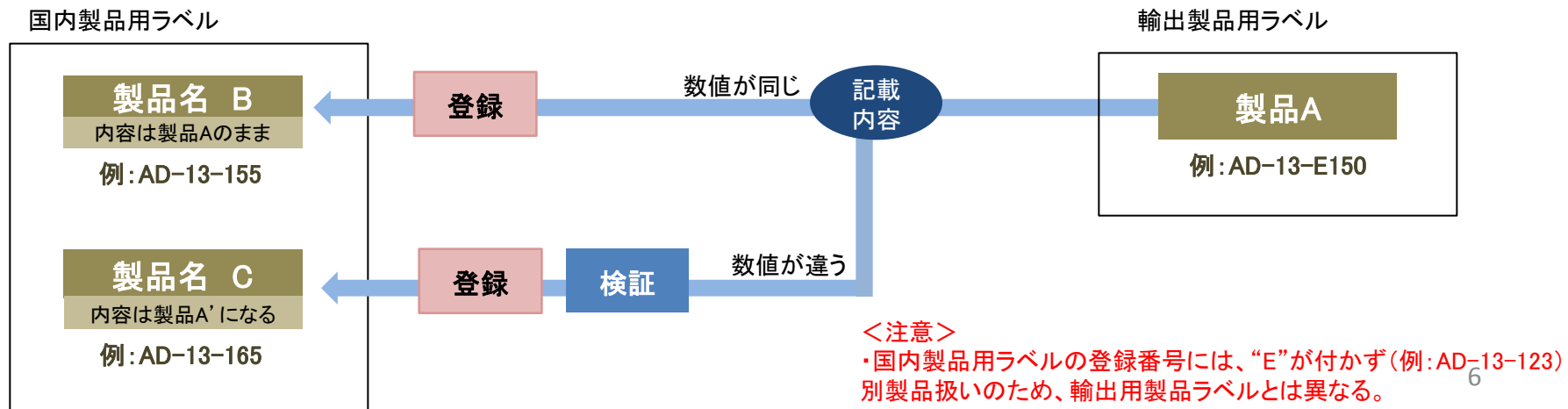
3.国内製品用、輸出製品用ラベルを公開するためのフロー

検証、登録については、それぞれ費用が発生します。

既存の国内製品用ラベルがあり、新たに輸出用製品ラベルを出す場合





既存の輸出用製品ラベルがあり、新たに国内用製品ラベルを出す場合

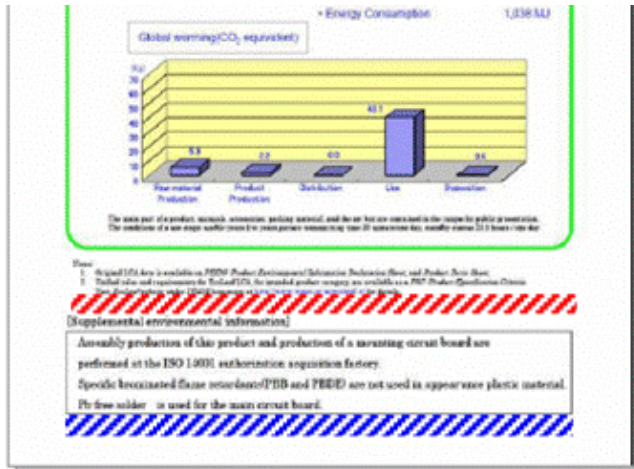


輸出版英語ラベルの但し書き

輸出仕様製品のラベルにおいては、下記の但し書きを指定箇所に挿入してください。

但し書き1（様式1～3に使用  箇所に挿入）	
英語版	This declaration was produced using Product Category Rule intended for a product model sold in the Japanese market and using the qualitative and quantitative data collected in Japan.
日本語版	この環境宣言は、日本仕様製品を対象とした製品分類別基準および、日本で収集された定性的および定量的データを用いて作成されました。
但し書き2（様式1に使用  箇所に挿入）	
英語版	The EcoLeaf is an environmental labeling program that belongs to the ISO-Type III category.
日本語版	エコリーフ環境ラベルプログラムはISOで規定するタイプⅢ環境宣言に属します。

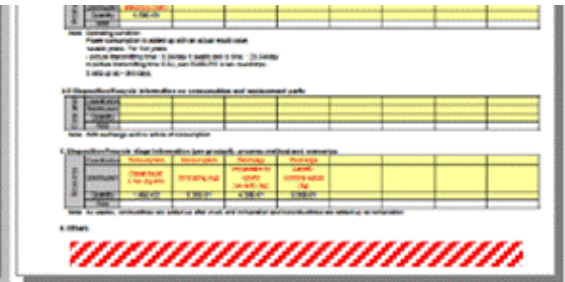
様式1



様式2



様式3



公開ラベルのPDF化 「CO₂の文字化け」

様式2の共通備考部分
(特に英語版)にある「CO₂」表示は、文字化けが生じることが多いため、提出の際ご注意ください。
フォントを小さくする、下付文字にするなどしてご対応ください。

＜英語版様式2 共通備考部分から抜粋＞

III Impact analyses

Result of the "Impact analyses" is found in converting results of inventory analyses into total amount of a reference material (e.g. CO₂ in case of "Global Warming").

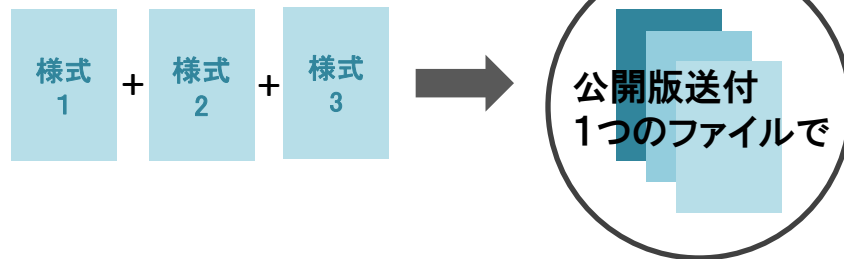
A. Impact "by resource consumption" represents magnitude of impacts to resource depletion.

B. Impact "by emission/discharge to environment" represents magnitude of impacts to Atmosphere, Water and Soil system.

公開ラベルのPDF化 「様式1~3を1つのファイルに」

各ステージ別の環境負荷(CO ₂ 換算値[kg])	累計CO ₂ 換算値[kg]
原料	572.1
製造	37.8
物流	3.3
使用	4.6
合計	617.8

PDF化の際には、様式1~3までを結合した**一つのPDFファイル**として作成・送付をお願いします。
* 事務局で結合時でのミス防止し、確実に公開するために、ご協力願います。



PDF化した際に、**表示部分が欠ける**ことがあります。
(特に様式1)

提出前に**最終確認**して頂けますよう、宜しくお願いします。
(特に左図 赤丸部分にご注意ください。)